

小学校における英語コミュニケーション力向上事業

(継続)【平成27年度予算額 事業費:9,899千円(県費:9,899千円)】

ねらい

- 国際社会で活躍する人材を育成するため、小学校3年生から「聞くこと」「話すこと」を中心とした英語教育をすすめ、コミュニケーション能力の素地を養う。
- 中学校における「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の育成を見据え、小学校においてALTを活用しフォニックスを取り入れた英語指導法の実践的な研究を行う。

「聞く」「話す」を中心とした英語指導法の研究・開発

・フォニックス教材、レゴブロック等の活用

・ALTによる英語環境の創出

・小中連携の推進

3タイプのモデル校指定

<ALTの配置方法別の3タイプ>

①小学校 1校を指定

<ALTを小学校1校へ配置>

②同一中学校区内の 複数の小学校を指定

<ALTが複数の小学校を巡回>

③同一中学校区 の小中学校を指定

<ALTが小中学校を巡回>

効果が期待される5つの取組



モデル校すべてで取組効果を実証



成果を県内へ普及・啓発

①フォニックスを活用 した指導法の開発

> 英語を正しく読む力の育成

②ALTの配置

> 日常的に英語でコミュニケーションを図る楽しさを体験

③English Timeの実施

> 毎週1時間程度の英語の授業
> 3年生以上の全学年で実施
> レゴブロック等の活用

④English Roomの設置

> ALTが授業だけでなく昼休みや
放課後等に英語で児童と交流
> レゴブロック等の活用

⑤中学校との連携

> 中学校の教員による出前授業
> 小中合同の研修会 等

3年生・4年生

- 原則教材“Hi, friends!”(文部科学省作成)を活用し、「聞く」「話す」を中心とした指導
- フォニックスの学習を取り入れ、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる
- 日本や外国の言語や文化への興味・関心を高める



5年生・6年生

- フォニックスの学習を通じて、「読む」「書く」につなげる指導
- 教材“Hi, friends!”(文部科学省作成)を活用し、「聞く」「話す」を中心とした指導
- 日本や外国の言語や文化の理解を深める

【効果】

- 国際社会で活躍する三重県人の育成
- 「聞くこと」「話すこと」を中心とした英語によるコミュニケーション力の向上
- 日本や外国の言語や文化の理解の促進

